

令和7年度 一関市立藤沢中学校

# 第1回 学校運営支援協議会

期日：令和7年6月20日(金)

10:00~11:30

場所：藤沢中学校 会議室

《 次 第 》 進行：副校長

- 1 授業参観〔2校時 10:00~10:30〕
- 2 校長挨拶
- 3 協議
  - (1) 学校運営支援協議会について
  - (2) 令和7年度 学校運営の基本方針について
  - (3) 不登校対策について
  - (4) その他
- 4 情報交換

一関市立藤沢中学校 学校運営支援協議会名簿

|    | 氏名      | 役職等                      | 備考 |
|----|---------|--------------------------|----|
| 1  | 星 義 弘   | 藤沢町住民自治協議会 会長            |    |
| 2  | 櫻 井 博 勝 | 学識経験者                    |    |
| 3  | 鈴 木 み え | 学識経験者                    |    |
| 4  | 佐 川 勝 弘 | 一関市社会福祉協議会<br>藤沢支部長      |    |
| 5  | 千 葉 英利子 | 一関市食生活改善推進協議会<br>藤沢支部 会長 |    |
| 6  | 千 田 恵 子 | 藤沢町主任児童委員                |    |
| 7  | 佐 藤 聖 子 | 新沼保育園 園長                 |    |
| 8  | 菊 地 慶 正 | 藤沢中学校 P T A会長            |    |
| 9  | 大 川 憲 一 | 藤沢中学校 校長                 |    |
| 10 | 佐々木 濟 通 | 藤沢中学校 副校長                |    |

会長・副会長の選出

|         |  |
|---------|--|
| 会 長     |  |
| 副会長（2名） |  |
|         |  |

※ 一関市学校運営支援協議会規則

第10条 協議会に会長及び副会長を置き、委員の互選により選出する。ただし、対象学校の校長は、会長となることができない。

協 議

1 学校運営支援協議会について

(1) 目的

校長の権限と責任の下に学校及び地域住民、保護者等が協議することにより、地域住民等の学校に対する支援及び協力を促進し、学校と地域住民等の信頼関係を深め、学校運営の改善並びに児童生徒の健全育成を図る。

(一関市学校運営支援協議会規則 第3条より)

(2) 年間計画

|     | 日 時                | 主な内容                          |
|-----|--------------------|-------------------------------|
| 第1回 | 6月20日（月）<br>10:00～ | 授業参観<br>学校運営基本方針の確認 不登校対策について |
| 第2回 | 11月上旬              | 授業参観<br>学校運営に係る中間報告と課題についての協議 |
| 第3回 | 2月下旬               | 学校運営に関する報告と評価                 |

2 令和7年度 学校運営の基本方針について

※ 学校要覧参照

### 3 不登校対策について

藤沢中学校の不登校対策（「令和7年度 本校の学校適応対策」より抜粋）

#### （1）年間目標

- ・学校不適應生徒へチームで支援に当たり、生徒や保護者との関係づくりに努める。
- ・全職員で日々の生徒観察を行い、情報交換を行い、きめ細かな対応を進めていく。
- ・適応支援教室として学習室での「居場所づくり」に担任、学年中心に全職員で組織的に取り組む。

#### （2）生徒指導、学校適応指導の具体

| 月  | ＜生徒指導のPDCAサイクルを意識した1年間の取組事項＞  |
|----|---|
| 4  | 新しい環境へのスムーズな対応を図る。個人面談やリモートによる授業などの生活<br>・学習への支援体制づくり。全教職員で、リモートによる授業提供のためのICT<br>学習会を行う。 |
| 5  | 学習への支援として、 <b>学び方の指導、学ぶ場所や時間を個別に相談し支援する。</b>  |
| 6  | 当日の動きの見通しをもたせながら中総体への活動や見学を促す。  |
| 7  | 高校体験入学への参加を促す。1学期の学習のまとめに取り組む。<br>*調査・点検見直し   |
| 8  | 長期休業中の課題を確認し、やりきるように指導・支援を行う。   |
| 9  | 新人戦への活動見学を促す。 <b>進路選択のための個別面談を行う。</b>   |
| 10 | 文化祭へ向けて、各教科の作品作りに取り組ませる。  |
| 11 | 進路事務説明会への参加を促し、卒業後の進路の決定に取り組ませる。  |
| 12 | 教育相談・カウンセラーとの面談を活用しながら、これからの方向性、卒業後の進<br>路を具体的に考えさせる。 *                                   |
|    | 調査・点検見直し  |
| 1  | 卒業・進級を見据え、中学校生活、1年間のまとめを意識させる。  |
| 2  | 学習のまとめや1年を振り返らせ、次年度への決意をもたせる。 *調査・点検見<br>直し   |
| 3  | 新年度へ向けての希望や具体的目標を決め、意欲をもたせる。  |

## 4 その他

### 情報交換

## 資料

### 一関市学校運営支援協議会規則

#### (趣旨)

第1条 この規則は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号。以下「法」という。）第47条の5の規定に基づき置く学校運営協議会について、必要な事項を定めるものとする。

#### (名称)

第2条 この規則の規定により置く学校運営協議会は、学校運営支援協議会（以下「協議会」という。）と称する。

#### (協議会の目的)

第3条 協議会は、校長の権限と責任の下に学校（一関市立学校条例（平成17年一関市条例第69号）第2条及び第3条に規定する学校をいう。以下同じ。）及び地域住民、保護者等（以下「地域住民等」という。）が協議することにより、地域住民等の学校に対する支援及び協力を促進し、学校と地域住民等の信頼関係を深め、もって学校運営の改善並びに児童生徒の健全育成を図るものとする。

#### (設置)

第4条 教育委員会は、法第47条の5第1項の規定により、学校ごとに協議会を置くものとする。

2 前項の規定にかかわらず、小学校及び中学校が相互に密接に連携し、その所在する地域の特色を生かした教育活動を行う場合は、2以上の学校について1の協議会を置くことができる。

3 協議会は、当該協議会を置いた学校または地域の名称を冠するものとする。

#### (委員の任命)

第5条 協議会の委員（以下「委員」という。）は、協議会ごとに15人以内とし、次に掲げる者のうちから教育委員会が委嘱し、又は任命する。

- (1) 当該協議会を置いた学校（以下「対象学校」という。）の所在する地域の住民
- (2) 対象学校に在籍する児童又は生徒の保護者
- (3) 対象学校の校長
- (4) 対象学校の教職員
- (5) 学識経験者
- (6) 関係行政機関の職員
- (7) その他教育委員会が必要と認める者

2 対象学校の校長は、前項の委員の委嘱又は任命に関し、教育委員会へ委員を推薦するものとする。

3 委員に欠員が生じたときは、教育委員会は新たに委員を委嘱し、又は任命するものとする。

#### (任期)

第6条 委員の任期は、4月1日から翌年の3月31日までの1年とし、再任を妨げない。

2 前項の規定にかかわらず、前条第3項の規定による補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

#### (報酬)

第7条 委員の報酬は、別に定める。

(守秘義務等)

第8条 委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も同様とする。

2 前項に定めるもののほか、委員は、次に掲げる行為をしてはならない。

- (1) 協議会及び学校の運営に著しく支障を来す言動をすること。
- (2) 委員としての地位を利用し、営利行為、政治活動、宗教活動等を行うこと。
- (3) その他委員としてふさわしくない行為を行うこと。

(委員の解嘱等)

第9条 教育委員会は、本人からの辞任の申出があったときは、委員の委嘱又は任命を解くことができる。

2 教育委員会は、委員が次の各号のいずれかに該当するときは、理由を付して委員の委嘱又は任命を解くことができる。

- (1) 前条の規定に違反したとき。
- (2) その他解嘱又は解任に相当する事由が認められたとき。

(会長及び副会長)

第10条 協議会に会長及び副会長を置き、委員の互選により選出する。ただし、対象学校の校長は、会長となることができない。

2 会長は、会務を総理し、会議の議長となる。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき又は欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第11条 協議会の会議は、会長が対象学校の校長と協議の上、招集する。

2 協議会は、委員の半数以上が出席しなければ、会議を開くことができない。

3 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

4 協議会の会議は、原則として、公開する。

(基本的な方針)

第12条 校長は、学校の運営に関して、教育課程の編成その他校長が必要と認める事項について基本的な方針を作成し、協議会の承認を得なければならない。

2 校長は、前項により承認された基本的な方針を、教育委員会に提出しなければならない。

(意見の申出)

第13条 協議会は、法第47条の5第6項又は同条第7項の規定により教育委員会に意見を述べるときは、対象学校の校長を経由して行うものとする。

2 協議会は、法第47条の5第7項の規定による対象学校の職員の任用等に関する意見を述べるときは、あらかじめ対象学校の校長の意見を聴くとともに、次に掲げる事項に留意しなければならない。

- (1) 第3条の趣旨を踏まえたものであること。
- (2) 学校の教育上の課題を踏まえたものであること。
- (3) 特定の個人に関するものでないこと。
- (4) 職員の分限、懲戒、賞罰その他身分に関するものでないこと。

(運営状況の報告)

第14条 協議会は、教育委員会に対し、毎年度1回、協議会の運営状況を報告するものとする。

(適正な運営の確保等)

第15条 教育委員会は、協議会の適正な運営を確保するために、必要に応じて指導又は助言を行うものとする。

2 教育委員会及び対象学校の校長は、協議会が適切な協議を行うことができるよう、協議会に必要な情報を提供するよう努めなければならない。

(庶務)

第16条 協議会の庶務は、対象学校において処理する。

(補則)

第17条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は、教育長が別に定める。

附 則

この規則は、令和4年4月1日から施行する。

令和7年度

# 学校要覧



一関市立藤沢中学校校歌

花岡 恵 作詞  
橋本 祥路 作曲

豊かなる この大地

生命育む 恵みの大地

古き歴史に 囲まれて

心豊かに 学びあう

花となれ 光となれ

人となれ

希望に向かって 進む我ら

風わたる この大地

彩り匂う 自然の大地

時の流れに 願い込めて

心確かに 伝えあう

花となれ 光となれ

人となれ

夢に向かって 羽ばたく我ら

藤沢 藤沢 藤沢中学校

## 一関市立 藤沢中学校

〒029-3405 岩手県一関市藤沢町藤沢字狩野40-3

電話 0191-63-2323

FAX 0191-63-2611

E-mail fujichu@city.ichinoseki.iwate.jp

# I 学区の概要と学校の沿革

## 1 地域の概要

- [位置] 岩手県南端、盛岡と仙台とのほぼ中間、北上山地南端西側斜面の丘陵地帯
- [面積・人口] 面積123.1k㎡、人口7,008人（R5.12）で、人口は減少傾向にある。
- [沿革] 平成23年、東磐井郡藤沢町が一関市と合併し、一関市藤沢町となる。
- [概要] 「人と人が結び合い、絆あふれる藤沢」を合い言葉に、住民の意思と責任で持続的な地域づくりを進め、明るく住みよい地域づくりを進めている。
- 福祉医療センターを中核として地域医療、地域保健、地域福祉の一体的な包括サービスを目指した「健康と福祉の里づくり」に取り組んでおり、家庭に根ざし、地域に開かれた活力ある福祉社会の形成に努めている。
- また、人々が住み、働き、憩う場として「快適で安心して暮らせる生活環境」を目指し、道路、河川、公園、上下水道、さまざまな分野における基盤整備を進める一方、人間と自然が調和した「美しい農村空間の創出」に向けた自然環境の保全と景観づくりを推進している。教育優先を信条に幼保一体、幼小連携の中で就学前教育の充実に努めている。
- また、国際理解事業による国際理解や異文化交流の推進により、世界に開かれたまちづくり、国際社会に対応できる地球市民としての人材の育成など、「豊かな心を育てる教育のまちづくり」を展開している。

## 2 学校の沿革

- |          |                                 |        |   |
|----------|---------------------------------|--------|---|
| 平成16年4月  | 旧藤沢・黄海の2中学校を統合し、藤沢町立藤沢中学校として開校  | 令和3年6月 | 全日本中学校通信陸上競技岩手県大会 共通男子走高跳第4位 東北大会出場                       |
| 11月      | 生徒会室・美術部室改修工事                   | 10月    | 一関市教育委員会研究指定(教育課程一般)学校公開                                  |
| 平成18年8月  | ソフトボール部 県中総体優勝・東北大会準優勝・全国大会出場   | 令和4年2月 | 特別教室棟、屋根等塗装改修と外壁の更新完了                                     |
| 平成19年8月  | ソフトボール部 東北大会準優勝・全国大会出場          | 5月     | 校内Wi-Fiアクセスポイント工事完了                                       |
| 平成20年8月  | 校舎移転作業(生徒・保護者・教職員・町教育委員会)       | 7月     | ソフトテニス部 男子団体 県中総体 第1位 東北大会出場                              |
| 10月      | 仁郷から狩野へ(旧藤沢高等学校)                |        | ソフトボール部 県中総体 第1位(雨天順延のため矢沢中と2校第1位)                        |
| 平成21年5月  | ソフトボール部 県中新人大会優勝                |        | 東北大会出場(藤沢中・東山中・川崎中 4校合同)                                  |
| 7月       | ソフトボール部 東北選抜大会準優勝               | 10月    | ソフトテニス部 男子団体 県中新人大会 第3位 男子個人 第3位                          |
| 平成22年8月  | ソフトボール部 県中総体優勝                  |        | ソフトボール部 県中新人大会 第1位(藤沢中・東山中・興田中・千厩中・大東中・大原中 6校合同)          |
| 平成23年3月  | ソフトボール部 東北大会第3位                 | 令和5年7月 | ソフトテニス部 男子個人(千葉・橋本組) 県中総体 第3位 東北大会出場                      |
|          | 東日本大震災により学校施設が被害(体育館・武道場)       |        | ソフトボール部 第3位(藤沢中・千厩中・東山中 3校合同)                             |
| 8月       | ソフトボール部 県中総体優勝                  | 9月     | 体育館グランドピアノ更新 記念行事として大船渡市出身ピアニスト西村元希氏をお招きしての講演会兼ピアノコンサート実施 |
| 9月       | 一関市との合併により一関市立藤沢中学校となる。         | 10月    | ソフトテニス部 男子団体 県中新人大会 第1位 男子個人 第1位(千葉・橋本組)                  |
| 平成24年8月  | ソフトボール部 県中総体・東北大会優勝・全国大会出場      | 11月    | 柔剣道場・部室棟屋根塗装工事完了(9月29日～11月3日)                             |
| 平成25年5月  | ソフトボール部 東北選抜大会優勝                | 令和6年7月 | ソフトテニス部 男子個人(千葉・橋本組) 県中総体 第1位 東北大会 第3位 全国大会出場             |
| 7月       | 創立10周年記念講演会(講師 初代校長 小原雪男氏)      |        | 男子団体 県中総体 第2位   |
| 8月       | ソフトボール部 県中総体優勝・東北大会優勝・全国大会ベスト16 |        | ソフトボール部 県中総体 第2位(藤沢中、千厩中、一関一高附属中 3校合同)                    |
| 平成26年1月  | 暖房設備改修工事 ボイラーから全室FFファンヒーターへ     | 10月    | ソフトボール部 県中新人大会 第2位(藤沢、花泉、千厩中 3校合同)                        |
| 3月       | 第1回同窓会入会式挙行(初代会長 伊藤貴洋氏)         |        | 日越交流会 ホーチミン貿易大学生5名来校 浄化槽改修工事実施                            |
| 8月       | 屋内運動場耐震改修工事                     | 令和7年3月 |   |
| 9月       | 岩手県英語弁論大会3年暗唱の部 第1位 熊谷聖輝        |        |   |
| 平成29年10月 | ソフトボール部 県中新人大会優勝(大東中と合同)        |        |   |
| 平成30年7月  | ソフトボール部 県中総体優勝(桜町中・一関中と3校合同)    |        |   |
| 令和2年3月   | 新型コロナウイルス感染拡大予防のため臨時休業          |        |   |
| 4月       | 一関市教育委員会研究指定(教育課程一般2年間)         |        |   |

## II 生徒の状況

### 1 生徒数・学級数

|     |   | 1年 | 2年 | 3年 | 特別支援 | 全体  |
|-----|---|----|----|----|------|-----|
| 生徒数 | 男 | 21 | 24 | 24 | 5    | 74  |
|     | 女 | 22 | 25 | 23 | 3    | 73  |
|     | 計 | 43 | 49 | 47 | 8    | 147 |
| 学級数 |   | 2  | 2  | 2  | 3    | 9   |

### 2 出身地区別生徒数

|     | 藤沢 | 黄海 | 新沼 | 他 | 計   |
|-----|----|----|----|---|-----|
| 1学年 | 30 | 8  | 9  | 0 | 47  |
| 2学年 | 30 | 15 | 5  | 0 | 50  |
| 3学年 | 29 | 15 | 5  | 1 | 50  |
| 計   | 89 | 38 | 19 | 1 | 147 |

### Ⅲ 学校教育目標と経営の重点

#### 1 学校教育目標

人間尊重の精神に徹し、豊かな人間性と創造性に富み、  
最後までやりとげるたくましい生徒を育成する

#### 2 目指す学校像

- 充実した学校……………努力、感動、希望のある学校
- 明るく活気に満ちた学校……互いを尊重し、笑顔にあふれるふれあいがある学校
- 安心・安全な学校……………学校事故・いじめのない学校
- 節度のある学校……………「挨拶・返事・規律」を大切にする学校

#### 3 目指す生徒の姿

|                            | 知 育   | 徳 育  | 体 育  |
|----------------------------|---|--|--|
| 東<br>阜<br>の<br>書<br>よ<br>り | い き<br><b>為 己</b><br>己のために為す  | つい し<br><b>遂 志</b><br>志を遂げる  | やく しん<br><b>躍 清</b><br>清々しく躍る  |
| 目<br>指<br>す<br>生<br>徒<br>像 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・わかる・できる喜びを感じ主体的・積極的に学ぶ生徒</li> <li>・学びを通して自己実現を図る生徒</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標実現に向けてあきらめず挑戦し続ける生徒</li> <li>・他人を尊重し、思いやりをもって行動できる生徒</li> <li>・規律を重んじ、約束を守る生徒</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・命を大切にし、心身ともに健康な生徒</li> <li>・規則正しい生活と体力向上に励む生徒</li> </ul> |

#### 4 1～3を実現するために、こんな教師を目指します

(藤沢中職員として目指す姿の実践)

- 「熱意」……………率先垂範、教育への情熱を持ち、生徒とともに成長する教師
- 「愛情」……………生徒との心の交流を大切にし、生徒理解に努める教師
- 「使命」……………自覚と責任をもち、自己研修に努める教師
- 「信頼」……………生徒、父母、地域から信頼される教師

#### 5 学校経営方針

- (1) 確かな学力の育成
- (2) 豊かな人間性の育成
- (3) 健やかな心身の育成
- (4) 特別支援教育の充実
- (5) 保護者と地域に信頼される教育の推進

## 6 学校経営の重点

| 重点目標  | 具体的な取り組み内容   |
|---|--|
| <p><b>1 確かな学力の育成</b></p> <p>ア 学習規律の徹底<br/>           イ 「いわての授業づくり3つの視点」を意識した授業改善<br/>           ウ ICTの効果的活用<br/>           エ キャリア教育の充実<br/>           オ 家庭学習習慣の確立<br/>           (1・2年生90分 3年生120分)</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「授業の約束」の活用</li> <li>・学習環境の整備</li> <li>・見通しをもって主体的に学習課題の解決を目指す授業の実践</li> <li>・校内研究会・互見授業(一人一授業)の実施</li> <li>・各種研修会への積極的参加</li> <li>・諸調査結果の積極的活用</li> <li>・ICTの効果的活用に関する情報共有、教材のデータベース化</li> <li>・3年間を見越したキャリア教育の計画的実施</li> <li>・教科・学活での家庭学習の取り組み方指導</li> <li>・家庭と連携した家庭学習に取り組む環境整備</li> </ul> |
| <p><b>2 豊かな人間性の育成</b></p> <p>ア 人権・道徳教育の充実<br/>           イ 発達支持的生徒指導の推進<br/>           ウ いじめなどの問題行動への適切な対応と不登校対策の推進<br/>           エ 読書活動の推進<br/>           オ ボランティア活動の推進</p>                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳科を要とした人権・道徳教育の充実と一人ひとりが大切にされる環境づくり</li> <li>・生徒を主体とした魅力ある学校づくりの取り組み</li> <li>・定期的な教育相談・アンケートによる問題行動等の早期発見</li> <li>・いじめ防止基本方針にもとづいた対応</li> <li>・生徒支援委員会の実施と外部機関(小学校や医療・福祉機関との連携強化による組織的対応</li> <li>・朝読書の実施と読書普及員との連携</li> <li>・生徒会を主体としたJRC活動</li> </ul>                                   |
| <p><b>3 健やかな心身の育成</b></p> <p>ア 望ましい生活習慣の確立<br/>           イ 保健教育の推進<br/>           ウ 計画的・継続的な体力の向上</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活習慣の振り返り(生活記録ノートの活用・家庭との連携)</li> <li>・健康診断結果にもとづく受診勧奨</li> <li>・心身の健康・薬物乱用・食育等に関する学習会の実施</li> <li>・保健体育の授業や部活動、合同トレーニング、特設陸上練習等における体力向上取り組み</li> </ul>  |
| <p><b>4 特別支援教育の充実</b></p> <p>ア 教職員の特別支援教育に関する専門性の向上<br/>           イ 多様性を認め、生徒一人ひとりを大切にしたい学校・学級づくりの推進<br/>           ウ 組織的な支援体制の確立<br/>           エ 特性を考慮した進路指導の充実</p>                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・校内研修会の実施</li> <li>・特別支援委員会の実施</li> <li>・生徒の特性の把握と全職員による情報共有</li> <li>・ユニバーサルデザインの観点に基づく教材づくり・環境整備</li> <li>・小学校や医療・福祉機関など外部との連携</li> <li>・生徒や保護者の意向と障がいの適性をふまえた、3年間を見通した進路指導</li> </ul>  |
| <p><b>5 保護者と地域に信頼される教育の推進</b></p> <p>ア 学校安全の充実<br/>           イ 保護者、地域住民、関係機関との連携強化<br/>           ウ 積極的な情報収集・情報発信<br/>           エ 部活動の地域移行の推進</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・実践的な安全指導、防災教育の実施</li> <li>・危機管理マニュアルの見直しと周知</li> <li>・PTA・学校運営支援協議会での方針説明・意見徴収</li> <li>・地域人材や関係機関などの教育資源の活用</li> <li>・地域行事への参加促進</li> <li>・校報、学年通信、学級通信などの定期的な発行とHPの公開</li> <li>・部活動の地域移行の啓発(PTA・指導者懇談会等)</li> </ul>  |

## Ⅳ 教 育 課 程

### 1 生活時程表

|         | 時 間         |
|---------|-------------|
| 職 員 打 合 | 8:15～8:20   |
| 生 徒 登 校 | ～8:20       |
| 朝 読 書   | 8:20～8:30   |
| 朝 学 習   | 8:30～8:35   |
| 短 学 活   | 8:35～8:40   |
| 1 校 時   | 8:50～9:40   |
| 2 校 時   | 9:50～10:40  |
| 3 校 時   | 10:50～11:40 |
| 4 校 時   | 11:50～12:40 |
| 給 食     | 12:40～13:15 |
| 昼 休 憩   | 13:15～13:35 |
| 5 校 時   | 13:40～14:30 |
| 6 校 時   | 14:40～15:30 |
| 清 掃     | 15:35～15:50 |
| 短 学 活   | 15:55～16:10 |
| 諸 活 動   | 16:10～16:35 |
| 下 校     | 16:45       |

#### <優先日>

- ◎委員会・生徒会活動：月曜日（部活動なし）
- ◎学年活動：火曜日
- ◎学級活動：水曜日
- ◎部 活 動：木・金曜日

#### <朝会>

- ◎全校朝会：火曜日
- ◎学年朝会：水曜日（3年）  
木曜日（2年）  
金曜日（1年）

### 2 主な行事

| 月  | 行事（生徒会行事も含む）   |
|----|--|
| 4  | 紹介式、始業式、入学式、修学旅行<br>新入生歓迎会、身体測定、生徒総会<br>授業参観、PTA総会、部活動入部 |
| 5  | 体育祭、部活動延長活動、各種検診<br>芸術鑑賞教室（2・3年生）                        |
| 6  | 避難訓練、引き渡し訓練<br>部活動延長活動、地区中総体、期末テスト                       |
| 7  | 県中総体、期末面談、終業式、夏季休業                                       |
| 8  | 夏季休業、野焼祭、地区駅伝<br>始業式、休み明けテスト、社会体験学習                      |
| 9  | 地区新人戦、中間テスト  |
| 10 | 県中新人戦（前期）、環境整備作業<br>文化祭、地区中文祭（展示）                        |
| 11 | 地区音楽発表会、県中新人戦（後期）<br>授業参観、教育相談週間、期末テスト                   |
| 12 | 期末面談、終業式、冬季休業  |
| 1  | 冬季休業、始業式、休み明けテスト<br>私立高校入試                               |
| 2  | 期末テスト  |
| 3  | 公立高校入試、実力テスト、卒業式<br>修了式、離任式                              |

### 3 スクールバス

| 七日町線 | 曲田線  | 中山線    |
|------|------|--------|
| 登校便  | 8:05 | 学校着    |
| 下校便  |      | 原則1便運行 |

## Ⅴ 校 内 研 究

研究主題

### 「見通しをもって粘り強く学習に取り組む生徒の育成」

～根拠をもって自分の考えを表現する授業実践を通して～

## VI 藤沢中学校 まなびフェスト

☆ 学校教育目標の達成のため、学校・生徒・家庭が一体となって以下の取り組みを行います。

※ 数値は達成目標 学校評価アンケートによる評価

|           | 学校では   | 生徒は  |
|-----------|--|--|
| 確かな学力の定着  | ① 生徒がよくわかる授業に取り組みます。(生徒による肯定的回答割合 85%以上)<br>② 生徒が課題の解決に向けて、主体的に取り組む授業を行います。(生徒による肯定的回答割合 85%以上)<br>③ キャリア教育を通じ、将来に夢や目標をもてる生徒を育てます。(生徒による肯定的回答割合 75%以上)         | ① 1・2年生 90分、3年生 120分の家庭学習に取り組みます。(1日平均で目標を達成できている生徒の割合 70%以上)<br>② 学校の宿題に加え、自主学習にも取り組みます。(生徒による肯定的回答割合 60%以上)  |
| 豊かな人間性の育成 | ④ 「学校は楽しい」と生徒が感じられる学校づくりに取り組みます。(生徒による肯定的回答割合 90%以上)<br>⑤ 他人を尊重し、思いやりを持って行動する生徒を育てます。(生徒による肯定的回答割合 90%以上)<br>⑥ ルールやマナーの意味を考え、約束を守る生徒を育てます。(生徒による肯定的回答割合 90%以上) | ③ その場に応じた気持ちの良いあいさつ・返事に取り組みます。(生徒による肯定的回答割合 90%以上)<br>④ 年間 10冊以上の読書に取り組み、視野を広げます。(達成できた生徒の割合 70%以上)<br>⑤ ボランティア活動や清掃活動に積極的に取り組みます。(生徒による肯定的回答割合 80%以上) |
| 健やかな心身の育成 | ⑦ 生活の振り返りを通して、生徒の望ましい生活習慣づくりの指導に努めます。(生徒による肯定的回答割合 80%以上)<br>⑧ 健康に関する学習を積極的に行い、生徒の健康への意識を高めます。(生徒による肯定的回答割合 80%以上)   | ⑥ 情報機器(スマートフォン、ゲーム等)の利用時間は1日2時間以内を守ります。(利用時間が1日平均2時間以内の生徒の割合 70%以上)<br>⑦ 1日60分以上の運動に取り組み、体力の向上に努めます。(1日平均で目標を達成できている生徒の割合 70%以上)                       |
| 地域に開かれた学校 | ⑨ 学校の情報を積極的に発信するとともに、保護者や地域からの情報や声を積極的に収集し、教育活動の改善に努めます。(保護者による肯定的回答割合 80%以上)<br>⑩ 地域の活動に積極的に協力します。(保護者による肯定的回答割合 85%以上)                                       | ⑧ 地域の活動に積極的に参加します。(生徒による肯定的回答割合 60%以上)   |

### ご家庭でお願いしたいこと

- ☆ 「早寝、早起き、朝ごはん」の習慣化をお願いします。
- ☆ 家庭内での積極的なあいさつや会話をお願いします。
- ☆ 家族の一員として、手伝いをさせてください。また励ましや認める声かけをお願いします。
- ☆ 家庭学習に集中して取り組める環境づくりをお願いします。
- ☆ 情報機器(スマホ、ゲーム等)について、家庭内のルール作りと「居間9ルール」の徹底をお願いします。



# 文部科学省委託事業不登校の要因分析に関する調査研究 結果の概要

令和6年3月公表

## I 調査の目的

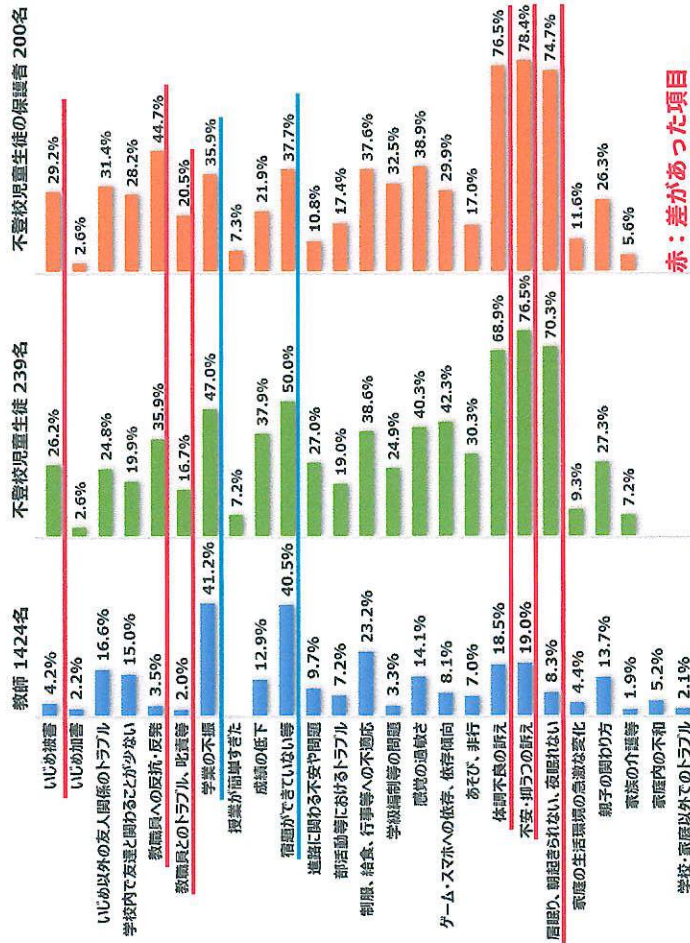
- (1) 令和4年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査（以下、問題行動等調査）において不登校と計上された児童生徒について、教師、児童生徒本人、保護者の回答を比較すること、および不登校でない児童生徒に対する教師、児童生徒本人の回答を比較することで、**不登校の関連要因を明らかにする。**
- (2) 令和4年度問題行動等調査において、不登校の主たる要因が「**無気力・不安**」であると報告された児童生徒（以下、「**無気力・不安**」群）の**詳細を把握し実態をつかむ。**
- (3) 令和4年度問題行動等調査において、学校内外の専門機関等で**相談・指導等を受けていないと報告された児童生徒の実態等を調査し、把握する。**

## II 調査の方法

|         |  |
|---------|--|
| 協力教育委員会 | 大阪府吹田市、広島県府中市、宮崎県延岡市、山梨県   |
| 調査対象者   | 令和4年度に小学3年生から高校1年生（中学3年生を除く）であった児童生徒（19,005名）とその保護者（12,140名）、および令和4年度当時の担任教師等（児童生徒24,943名分）  |
| 主な調査内容  | 令和4年度の登校状況<br><b>きっかけ要因（または辛かったこと）</b> ：いじめ、いじめを除く友人関係の問題、学業不振、ゲーム、心身の不調、生活リズムの乱れなど、直接的な不登校のきっかけにならないもの。<br><b>背景要因</b> ：特別な教育の支援ニーズ、障害、外国籍、家庭背景等（教師、保護者を対象に調査）。<br><b>保護因子</b> ：授業・行事等への積極的な参加、勉強が得意、教職員との良好な関係、家庭内での良好な関係等、得意なこと、うまくいっていること。<br>令和5年度の状況 |

# (1) 不登校の関連要因について

## きっかけ要因に関する教師・児童生徒・保護者の回答の比較



赤：差があった項目  
青：概ね一致した項目

教師が令和4年度不登校として報告し、かつ児童生徒も年間欠席30日以上と回答した239名、および保護者も年間欠席30日以上と回答した200名の結果を記載。  
**「学業の不振」**、「**宿題の提出**」については、三者の回答割合が比較的近い値であった。一方、「**いじめ被害**」、「**教職員への反抗・反発**」、「**教職員からの叱責**」等については、教師と児童生徒・保護者の回答割合に違いがみられた。また、「**体調不良**」、「**不安・抑うつ**」、「**居眠り、朝起きられない、夜眠れない**」といった心身不調・生活リズム不調については、児童生徒や保護者は約7~8割が回答しているのに対し、教師の回答割合は2割弱と低かった。

## 教師回答による不登校児童生徒と不登校でない児童生徒の違い

| 質問項目                 | 不登校でない児童生徒 | R4不登校の児童生徒 | 違い (オッズ比) |
|----------------------|------------|------------|-----------|
| いじめ被害                | 3.9%       | 4.2%       | 1.09      |
| いじめ加害                | 3.8%       | 2.2%       | 0.56      |
| いじめ以外の友人関係のトラブル      | 15.9%      | 16.6%      | 1.05      |
| 学校内で友達と関わることが少ない     | 2.9%       | 15.0%      | 5.97*     |
| 教職員への反抗・反発           | 2.6%       | 3.5%       | 1.35*     |
| 教職員とのトラブル、叱責等        | 1.7%       | 2.0%       | 1.21      |
| 学業の不振                | 11.7%      | 41.2%      | 5.26*     |
| 成績の低下                | 1.5%       | 12.9%      | 9.93*     |
| 宿題ができていない等           | 11.1%      | 40.5%      | 5.44*     |
| 連絡に関わる不安や問題          | 1.7%       | 9.7%       | 6.20*     |
| 部活動等におけるトラブル         | 2.6%       | 7.2%       | 2.88*     |
| 制服、給食、行事等への不適応       | 1.5%       | 23.2%      | 20.40*    |
| 入学、転入、進級等の問題         | 0.5%       | 3.3%       | 6.44*     |
| ゲーム・スマホへの依存、依存傾向     | 0.8%       | 8.1%       | 10.95*    |
| あそび、非行               | 1.5%       | 7.0%       | 5.06*     |
| 体調不良の訴え              | 4.5%       | 18.5%      | 4.80*     |
| 不安・抑うつ等の訴え           | 2.3%       | 19.0%      | 9.75*     |
| 学校での居眠り等             | 4.8%       | 8.3%       | 1.80*     |
| 家庭の生活環境の急激な変化        | 1.7%       | 4.4%       | 2.74*     |
| 親子の関わり方              | 2.3%       | 13.7%      | 6.65*     |
| 家庭内の不和               | 1.0%       | 5.2%       | 5.38*     |
| 学校・家庭以外でのトラブル        | 0.8%       | 2.1%       | 2.67*     |
| 特別な教育的支援のニーズ         | 5.8%       | 20.8%      | 4.27*     |
| 発達障がい等の診断・疑い         | 5.3%       | 20.6%      | 4.64*     |
| 身体的疾患・障がい、睡眠障害の診断・疑い | 1.8%       | 10.0%      | 5.98*     |
| 心身・精神的な問題の診断・疑い      | 1.5%       | 12.3%      | 9.12*     |
| 感覚過敏・鈍麻              | 1.8%       | 14.1%      | 9.00*     |
| 外国籍、重国籍、日本語以外        | 1.4%       | 1.1%       | 0.74      |
| 要介護、要保護、準要保護         | 0.5%       | 2.0%       | 4.31*     |
| 性自認、性的指向、性表現の違和感     | 4.7%       | 11.7%      | 2.67*     |
| 家族の介護・介助             | 0.7%       | 1.9%       | 2.67*     |
| ひとり親・共働き家庭           | 3.8%       | 18.2%      | 5.57*     |
| きょうだいの不登校            | 1.8%       | 27.7%      | 20.37*    |

\*統計的に有意 (p<.05)

## 児童生徒本人回答による不登校児童生徒と不登校でない児童生徒の違い

| 質問項目                 | 不登校でない児童生徒 | R4不登校の児童生徒 | 違い (オッズ比) |
|----------------------|------------|------------|-----------|
| いじめ被害                | 15.0%      | 26.2%      | 2.00*     |
| いじめ加害                | 8.7%       | 2.6%       | 0.28*     |
| いじめ以外の友人関係のトラブル      | 16.6%      | 24.8%      | 1.66*     |
| 仲の良い友達がいない           | 7.4%       | 19.9%      | 3.13*     |
| 先生と合わない              | 14.3%      | 35.9%      | 3.35*     |
| 先生から厳しく怒られた、体罰があった   | 7.5%       | 16.7%      | 2.45*     |
| 授業が分からない             | 35.4%      | 47.0%      | 1.62*     |
| 授業が簡単すぎる             | 11.3%      | 7.2%       | 0.61      |
| 成績が下がった              | 41.6%      | 37.9%      | 0.86      |
| 宿題ができていない            | 24.5%      | 50.0%      | 3.08*     |
| 将来の進路の悩み             | 36.1%      | 27.0%      | 0.66*     |
| 部活動の問題               | 19.4%      | 19.0%      | 0.97      |
| 学業の進捗のこと (制服・給食・行事等) | 13.8%      | 38.6%      | 3.94*     |
| 入学、進級、転校など           | 7.0%       | 24.9%      | 4.40*     |
| 声や音がうるさい、いやなにおい      | 23.7%      | 40.3%      | 2.17*     |
| インターネット、ゲームの影響       | 22.9%      | 42.3%      | 2.47*     |
| 学校とは違ったこと (遊び) をしたい  | 22.0%      | 30.3%      | 1.54*     |
| からだの不調               | 34.0%      | 68.9%      | 4.29*     |
| 気持ちの落ち込み、いらぬ         | 49.2%      | 76.5%      | 3.35*     |
| 朝起きられない、夜眠れない        | 36.4%      | 70.3%      | 4.13*     |
| 家での生活がかわった           | 3.8%       | 9.3%       | 2.57*     |
| 親のこと (親と仲が悪いなど)      | 15.9%      | 27.3%      | 1.99*     |
| 家族の世話や家事             | 7.7%       | 7.2%       | 0.94      |

青：教師・児童生徒ともに不登校との関連がみられた項目

赤：教師のみで関連がみられた項目

緑：児童生徒のみで関連がみられた項目

※どちらか一方でしか該当していないものは除く

## (2) 無気力・不安群について

教師対象調査において、令和4年度問題行動等調査で不登校の主たる要因について回答のあった1,357名の回答のうち、その要因が「無気力・不安」であったものは750名(55.3%)であった。「無気力・不安」群とそれ以外の群について、教師、児童生徒、保護者の回答を比較した。

| きっかけ要因               | 教師回答             |               | 違い<br>(オッズ比) |
|----------------------|------------------|---------------|--------------|
|                      | 「無気力・不安」<br>以外の群 | 「無気力・不安」<br>群 |              |
| いじめ被害                | 6.1%             | 2.5%          | <b>0.40*</b> |
| いじめ加害                | 3.5%             | 1.3%          | <b>0.38*</b> |
| いじめ以外の友人関係のトラブル      | 21.9%            | 12.3%         | <b>0.50*</b> |
| 学校内で友達と関わる事が少ない      | 16.0%            | 14.7%         | 0.90         |
| 教職員への反抗・反発           | 4.6%             | 2.8%          | 0.60         |
| 教職員とのトラブル、叱責等        | 2.6%             | 1.6%          | 0.60         |
| 学業の不振                | 44.2%            | 39.6%         | 0.83         |
| 成績の低下                | 13.8%            | 12.1%         | 0.86         |
| 宿題ができていない等           | 43.0%            | 39.1%         | 0.85         |
| 進路に関わる不安や問題          | 8.6%             | 10.8%         | 1.29         |
| 部活動等におけるトラブル         | 7.9%             | 6.7%          | 0.83         |
| 制服、給食、学校行事等への不満足     | 24.9%            | 23.1%         | 0.91         |
| 学級編制等の問題             | 3.5%             | 3.2%          | 0.92         |
| ゲーム、スマホの利用への依存、依存傾向  | 9.2%             | 6.9%          | 0.73         |
| あそび、非行               | 9.9%             | 4.8%          | <b>0.46*</b> |
| 体調不良の訴え              | 18.0%            | 18.7%         | 1.05         |
| 不安・抑うつ訴え             | 19.3%            | 18.4%         | 0.94         |
| 学校での居残り等             | 9.1%             | 7.1%          | 0.76         |
| 家庭の生活環境の急激な変化        | 6.8%             | 2.5%          | <b>0.36*</b> |
| 親子の間わり方              | 17.5%            | 10.7%         | <b>0.56*</b> |
| 家庭内の不和               | 6.8%             | 3.7%          | <b>0.54*</b> |
| 学校・家庭以外でのトラブル        | 3.0%             | 1.3%          | <b>0.44*</b> |
| 背景要因                 |                  |               |              |
| 特別支援教育の二一ス           | 20.3%            | 22.4%         | 1.14         |
| 発達障がいの診断・疑い          | 20.4%            | 21.3%         | 1.06         |
| 身体的疾患・障がい、睡眠障害の診断・疑い | 10.5%            | 9.9%          | 0.93         |
| 心理・精神的な問題の診断・疑い      | 12.7%            | 11.7%         | 0.91         |
| 感覚の過敏さ               | 10.5%            | 16.9%         | <b>1.73*</b> |
| 外国籍・重国籍 日本語以外の言語     | 1.5%             | 0.7%          | 0.45         |
| 性自認、性的指向、性表現の違和感     | 1.8%             | 2.0%          | 1.11         |
| 要対協、要保護、要保護の対象       | 14.2%            | 10.4%         | <b>0.70*</b> |
| 家族の介護等               | 3.0%             | 1.2%          | <b>0.40*</b> |
| ひとり親家庭、共働き家庭         | 19.3%            | 17.5%         | 0.89         |
| きょうだいの不登校            | 28.0%            | 28.1%         | 1.01         |

\*統計的に有意 (p<.05)

| きっかけ要因                | 児童生徒回答           |               | 違い<br>(オッズ比) |
|-----------------------|------------------|---------------|--------------|
|                       | 「無気力・不安」<br>以外の群 | 「無気力・不安」<br>群 |              |
| いじめ被害                 | 29.1%            | 26.3%         | 0.92         |
| いじめ加害                 | 3.3%             | 2.2%          | 0.69         |
| いじめ以外の友人関係のトラブル       | 25.6%            | 25.6%         | 0.95         |
| 仲の良い友だちがいらない          | 19.8%            | 21.0%         | 1.03         |
| 先生と合わない               | 41.1%            | 30.7%         | 0.74         |
| 先生から厳しく怒られた、体罰があった    | 18.7%            | 14.7%         | 0.97         |
| 授業が分からない              | 52.8%            | 44.1%         | 0.97         |
| 授業が簡単すぎた              | 5.5%             | 8.8%          | 0.89         |
| 成績が下がった               | 39.6%            | 38.0%         | 1.43         |
| 宿題ができていない             | 51.7%            | 50.0%         | 0.89         |
| 部活動の進路の悩み             | 25.8%            | 28.5%         | 0.96         |
| 部活動の問題                | 22.0%            | 17.9%         | 0.98         |
| 学校の決まりのこと (制服、給食、行事等) | 40.5%            | 39.4%         | 0.62         |
| 入学、進級、転校など            | 24.4%            | 26.5%         | 1.10         |
| 声や音がうるさい、いやなおい        | 37.0%            | 43.1%         | 1.18         |
| インターネット、ゲームなどの影響      | 42.2%            | 43.8%         | 1.10         |
| 学校とは違ったこと (遊び) をしたい   | 29.0%            | 32.6%         | 1.27         |
| からだの不調                | 67.7%            | 69.6%         | 1.07         |
| 気持ちの落ち込み、いらいら         | 76.3%            | 76.1%         | 1.02         |
| 朝起きられない、夜眠れない         | 74.2%            | 66.9%         | 0.83         |
| 家での生活がかわった            | 10.9%            | 8.0%          | 0.82         |
| 親のこと (親と仲が悪いなど)       | 25.8%            | 29.1%         | 1.08         |
| 家族の世話や家事              | 9.7%             | 5.9%          | 0.53         |
| 保護者回答                 |                  |               |              |
| 「無気力・不安」以外の群          | 30.1%            | 29.1%         | 0.94         |
| 「無気力・不安」群             | 2.7%             | 2.6%          | 0.93         |
| 「無気力・不安」以外の群          | 28.8%            | 33.6%         | 1.29         |
| 「無気力・不安」群             | 30.1%            | 26.5%         | 0.84         |
| 「無気力・不安」以外の群          | 40.5%            | 47.0%         | 1.32         |
| 「無気力・不安」群             | 21.9%            | 19.7%         | 0.87         |
| 「無気力・不安」以外の群          | 31.1%            | 39.7%         | 1.44         |
| 「無気力・不安」群             | 4.1%             | 9.7%          | 2.53         |
| 「無気力・不安」以外の群          | 18.9%            | 24.8%         | 1.41         |
| 「無気力・不安」群             | 32.9%            | 41.6%         | 1.45         |
| 「無気力・不安」以外の群          | 10.8%            | 11.3%         | 1.05         |
| 「無気力・不安」群             | 18.9%            | 17.2%         | 0.89         |
| 「無気力・不安」以外の群          | 24.7%            | 46.6%         | <b>2.62*</b> |
| 「無気力・不安」群             | 29.3%            | 35.9%         | 1.33         |
| 「無気力・不安」以外の群          | 33.8%            | 43.0%         | 1.46         |
| 「無気力・不安」群             | 25.7%            | 33.0%         | 1.41         |
| 「無気力・不安」以外の群          | 13.7%            | 19.0%         | 1.46         |
| 「無気力・不安」群             | 72.4%            | 79.7%         | 1.51         |
| 「無気力・不安」以外の群          | 75.0%            | 80.3%         | 1.38         |
| 「無気力・不安」群             | 73.3%            | 75.2%         | 1.12         |
| 「無気力・不安」以外の群          | 15.8%            | 8.6%          | 0.49         |
| 「無気力・不安」群             | 16.2%            | 33.9%         | <b>2.62*</b> |
| 「無気力・不安」以外の群          | 4.1%             | 6.9%          | 1.74         |

\*統計的に有意 (p<.05)

赤: 「無気力・不安」群  
に見られた特徴  
青: 「無気力・不安」群  
以外に見られた特徴

教師回答では、「無気力・不安」群は、「**感覚の過敏さ**」以外に統計的に優位に割合の高い項目は無く、「無気力・不安」以外の群で「**いじめ被害**」、「**いじめ加害**」、「**いじめ以外の友人関係のトラブル**」、「**あそび、非行**」、「**家庭の生活環境の急激な変化**」、「**親子の間わり方**」、「**家庭内の不和**」、「**学校・家庭以外でのトラブル**」、「**要対協、要保護、要保護の対象**」、「**家族の介護等**」の割合が統計的に有意に高いことから、**象徴的なきっかけ要因がない場合に「無気力・不安」を回答されやすい可能性が示唆された**。また「不安・抑うつ訴え」に該当するものは、「無気力・不安」以外の群では19.3%、「無気力・不安」群では18.4%と、後者の方がむしろ低かった。このことは、抑うつ・不安の訴えがあることによって、主たる要因を「無気力・不安」と回答しているとは限らないことを示唆する。

# (3) 相談・指導等を受けていないと報告された不登校の児童生徒の状況

令和4年度問題行動等調査における不登校児童生徒1,424名のうち、学校内外の専門機関等で相談・指導等を受けたと報告された児童生徒887名(62.4%)と、相談・指導等を受けていないと報告された児童生徒534名(37.6%)について違いを検討した(無回答3名)。

## 【教師の回答】

| きっかけ要因           | 相談・指導を受けた児童生徒 | 相談・指導を受けていない児童生徒 | 違い(オッズ比) |
|------------------|---------------|------------------|----------|
| いじめ被害            | 4.4%          | 3.9%             | 0.89     |
| いじめ加害            | 1.6%          | 3.2%             | 2.05     |
| 友人関係のトラブル        | 16.2%         | 17.2%            | 1.07     |
| 友達と関わることが少ない     | 14.8%         | 15.4%            | 1.05     |
| 教職員への反抗・反発       | 2.9%          | 4.5%             | 1.56     |
| 教職員とのトラブル、叱責等    | 1.6%          | 2.8%             | 1.80     |
| 学業の不振            | 38.0%         | 46.3%            | 1.40*    |
| 成績の低下            | 11.6%         | 15.0%            | 1.34     |
| 宿題ができていない等       | 35.7%         | 48.5%            | 1.69*    |
| 進路に関わる不安や問題      | 11.0%         | 7.3%             | 0.63     |
| 部活動等におけるトラブル     | 6.5%          | 8.4%             | 1.32     |
| 制服、給食、行事等への不適応   | 23.0%         | 23.8%            | 1.04     |
| 入学、転編入学、進級時の不適応  | 3.3%          | 3.4%             | 1.03     |
| ゲーム・スマホ依存、依存傾向   | 8.7%          | 7.3%             | 0.83     |
| あそび、非行           | 6.5%          | 7.7%             | 1.19     |
| 体調不良の訴え          | 16.9%         | 21.2%            | 1.32     |
| 不安・抑うつ等の訴え       | 20.4%         | 16.7%            | 0.78     |
| 学校での居眠り等         | 7.2%          | 10.1%            | 1.45     |
| 家庭の生活環境の急激な変化    | 4.1%          | 5.1%             | 1.26     |
| 親子の間わり方          | 13.6%         | 13.9%            | 1.02     |
| 家庭内の不和           | 4.8%          | 5.8%             | 1.21     |
| 学校・家庭以外のトラブル     | 2.1%          | 2.1%             | 0.96     |
| 背景要因             |               |                  |          |
| 特別支援教育のニーズ       | 23.9%         | 15.7%            | 0.59*    |
| 発達障がいの診断・疑い      | 25.6%         | 12.4%            | 0.41*    |
| 身体的疾患、睡眠障害の診断・疑い | 11.7%         | 7.1%             | 0.58*    |
| 心理・精神的問題の診断・疑い   | 14.4%         | 8.8%             | 0.57*    |
| 感覚の過敏さ           | 18.0%         | 7.7%             | 0.38*    |
| 外国籍、軍国籍、日本語以外の言語 | 1.0%          | 1.1%             | 1.11     |
| 性自認、性的指向、性表現の違和感 | 2.0%          | 1.9%             | 0.92     |
| 要対協、要保護等の対象      | 9.5%          | 15.5%            | 1.76*    |
| 家族の介護等           | 1.9%          | 1.9%             | 0.98     |
| ひとり親家庭、共働き家庭     | 16.0%         | 21.9%            | 1.47*    |
| きょうだいの不登校        | 27.8%         | 27.5%            | 0.98     |

\*統計的に有意 (p<.05)

## 【教師回答による不登校関連要因の違い】

- ・ **相談・支援を受けていない児童生徒の割合が高い**  
「学業の不振」(オッズ比:1.40)、「宿題ができていない等」(オッズ比:1.69)、「要対協、要保護等の対象」(オッズ比:1.76)、「ひとり親家庭、共働き家庭」(オッズ比:1.47)
- ・ **相談・支援を受けた児童生徒の割合が高い**  
「特別支援教育のニーズ」(オッズ比:0.59)、「発達障がいの診断・疑い」(オッズ比:0.41)、「身体的疾患、睡眠障害の診断・疑い」(オッズ比:0.58)、「心理・精神的問題の診断・疑い」(オッズ比:0.57)、「感覚の過敏さ」(オッズ比:0.38)

## 【児童生徒回答による不登校関連要因の違い】※表無し

- ・ **相談・支援を受けていない児童生徒の割合が高い**  
「授業が分からない」(オッズ比:1.85)、「宿題ができていない」(オッズ比:1.72)

令和4年度問題行動等調査において相談・指導等を受けていないと報告された児童生徒は、受けたと報告された児童生徒と比較して、「**学業不振**」や「**宿題**」の問題が多くみられた。これらは教師回答、児童生徒回答で一致した結果であった。

一方で、相談・指導等を受けていない児童生徒では、「**発達障害の診断・疑い**」「**感覚の過敏さ**」等の背景要因をもつ割合が少なく、このような要因をもつことで相談・指導等につながりやすい(あるいは既につながっていた)可能性がある。しかし、「**要対協・要保護**」、「**ひとり親・共働き**」といった家庭的な背景要因をもつ割合が多く、このような場合に相談・指導が届きにくい可能性がある。

赤: 相談・指導等を受けていない児童生徒の割合が高い  
青: 相談・指導等を受けた児童生徒の割合が高い

# 不登校の児童生徒に対する学校の対応と保護者の評価

## 【教師への質問】

不登校児童生徒に対してどのような対応があったか。

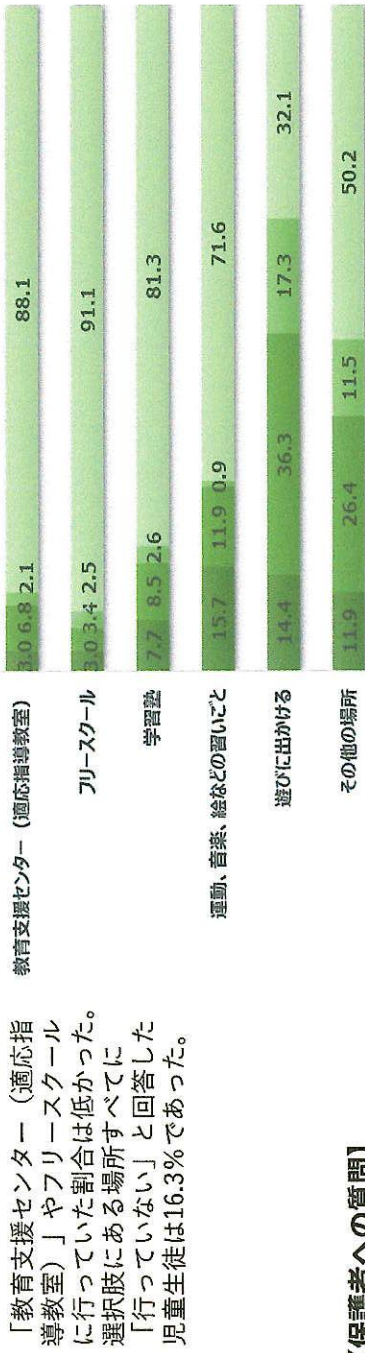
| 学校を休んでいる（休みがちな）ときの対応                              |       |
|---|-------|
| 教職員による本人、家族への連絡：ほぼ毎日                              | 30.7% |
| 週に何度か   | 31.8% |
| 週に一度程度  | 23.2% |
| 月に何度か   | 11.9% |
| ほとんどない  | 2.4%  |
| 教職員による家庭訪問：                                       |       |
| ほぼ毎日  | 2.9%  |
| 週に何度か   | 6.3%  |
| 週に一度程度  | 22.2% |
| 月に何度か   | 27.7% |
| ほとんどない  | 41.0% |
| スクールカウンセラー等の専門スタッフとの面談                            | 38.1% |
| 学校内に別室でできる環境の整備等                                  | 73.4% |
| 教育支援センター（適応指導教室）など学校外の教育機関の紹介                     | 37.4% |
| 学校によるオンラインを活用した学習支援（オンライン教材の提供やオンラインによる同時双方向授業など） | 30.8% |
| 紙媒体の教材の提供等  | 71.7% |
| 就学援助等の経済的支援の利用の紹介                                 | 13.2% |

青：対応割合の高いもの 赤：対応割合の低いもの

「学校内に別室でできる環境の整備等」（73.4%）や「学校による上記以外の学習支援（プリントの配布、紙媒体の教材の提供等）」（71.7%）は多くの学校で提供されているが、「教育支援センター（適応指導教室）など学校外の教育機関の紹介」（37.4%）や「学校によるオンラインを活用した学習支援（オンライン教材の提供やオンラインによる同時双方向授業など）」（30.8%）が行われている割合は低い。

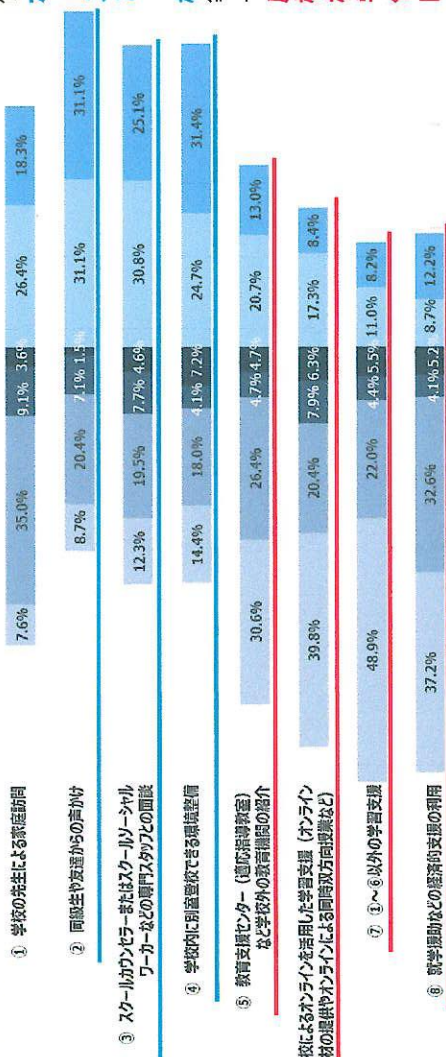
## 【児童生徒への質問】

休んでいる間、学校以外の場所に行っていましたか。



## 【保護者への質問】

お子さんが学校を休んでいる時（休みがちになっている時）の学校の対応について、どのように評価していますか。



青：肯定的な評価の割合の高いもの 赤：実施されず割合の低いもの

保護者からは、「同級生や友達からの声かけ」（62.2%）や「スクールカウンセラーまたはスクールソーシャルワーカーなどの専門スタッフとの面談」（55.9%）、「学校内に別室でできる環境整備」（56.1%）等について肯定的な回答が多い一方、「教育支援センター（適応指導教室）など学校外の教育機関の紹介」（30.6%）や「学校によるオンラインを活用した学習支援（オンライン教材の提供やオンラインによる同時双方向授業など）」（39.8%）等について実施されず割合の低い回答が多かった。

# 考察：不登校支援の方向性への提言

## 【(1) 不登校の関連要因について】

**【いじめ被害及び友達とのトラブルの予防】** 児童生徒回答では、不登校の児童生徒の26.2%がいじめ被害を訴えている（不登校でない児童生徒は15.0%）。また、不登校の児童生徒で「いじめ以外の友人関係のトラブル」を訴えている者は24.8%（不登校でない児童生徒は16.6%）であり、友人関係の問題は不登校のリスクを高めると考えられる。いじめや友達関係トラブルが起きにくい集団作り、対人スキルを学ぶ機会の提供が重要であり、集団に馴染めず、孤立している児童生徒に対して早期に支援することが不登校の予防として必要である。

**【教師の行動、学校風土の改善】** 児童生徒回答において、不登校の児童生徒は「先生から厳しく怒られた・体罰」が16.7%（不登校でない児童生徒は7.5%）、「先生と合わなかった」が35.9%（不登校でない児童生徒は14.3%）であり、教師の態度や指導方法が不登校の要因になっている可能性がある。また、児童生徒回答・教師回答ともに、「学校のきまり（制服・給食・行事等への不適応）」が不登校と関連している（オッズ比：児童生徒3.94、教師20.40）。こうした学校のルール設定、活動の設定、教師の態度や指導方法は、学校風土を形作る要素である。学校風土の向上は不登校の予防につながるものであり、COCOLOプランで述べられている学校風土の見える化、校則等の見直しの推進、快適で温かみのある学校としての環境整備などが必要である。

**【授業改善、学習支援の充実】** 「学業の不振」「宿題の提出」「宿題の児童生徒の三者でほぼ一致して回答割合が高かった。児童生徒回答では、不登校の児童生徒の47.0%が「授業がわからない」、37.9%が「成績が下がった」、50.0%が「宿題ができない」と回答している。加えて、不登校でない児童生徒についても成績が下がったと感じている児童生徒が多く、授業改善や学習支援の充実が不可欠であろう。

**【児童生徒の体調、メンタルヘルス、生活リズムへの注目】** 児童生徒回答では、「からだの不調」「気持ちの落ち込み・いらいら」「夜眠れない・朝起きられない」といった体調、メンタルヘルス、生活リズムの不調が、それぞれ不登校の児童生徒の7割前後に見られた。一方、それらが2割未満であった教師回答から考えると、教師には児童生徒の不調を正確に捉えることは難しいかもしれない。よって、デジタル端末の活用など、児童生徒の不調に気づく仕組みが必要である。ただし、デジタル端末等を利用した児童生徒の心や体調の変化に気づく仕組みは、それを活用する教師の知識と支援体制が伴わなければならない。

**【背景要因へのアプローチ】** 教師回答によると、発達特性、障がい、家庭の困難さなどが不登校と関連することが明らかになった。これらは、合理的配慮、特別支援教育をはじめとすると、長期間の継続的支援が必要なものである。こうした要因をもつ児童生徒が多く不登校になっている場合、その学校、地域における特別支援教育の在り方、支援システム構築、保護者への支援について検討が必要であろう。

## 【(2) 無気力・不安群について】

教師回答から、教師が把握可能な要因が明らかでない場合に「無気力・不安」を主たる要因として報告されている可能性が示唆された。

一方で、教師回答による「不安・抑うつ」の訴え」や児童生徒回答による「気持ちの落ち込み・いらいら」の割合は「無気力・不安」群とそれ以外の群で変わらず、メンタルヘルスの問題の有無によって分けられている訳ではないことが示唆された。

## 【(3) 相談・指導等を受けていないと報告された不登校の児童生徒の状況】

相談・指導等を受けていないと報告された児童生徒は、受けたと報告された児童生徒と比較して、「学業不振」や「宿題の問題」が多くみられた。学業不振等があった不登校になっていない児童生徒の中には、勉強が分かったり、宿題をうまくこなせたりすることで再登校が可能になる場合もあると考えられるため、不登校時の相談・指導は非常に重要であろう。

また、相談・指導等を受けていないと報告された児童生徒は「要対協・要保護」「ひとり親・共働き」といった家庭的な背景要因をもつ割合が高く、相談・指導が届きにくい可能性があり、注意が必要である。